

特別講座 作曲家 西村朗

「音楽の可能性」 ～アジアとの響振 ― 自作を語る～

作曲家西村朗は、西洋の現代作曲技法を学ぶ一方で、在学中よりアジアの伝統音楽、宗教、美学、宇宙観等に強い関心を抱き、そこから導いたヘテロフォニーなどのコンセプトにより、今日まで多数の作品を発表。その中から最新作を含む自作についてのレクチャーを行い、音楽の可能性を語る。



西村朗氏 略歴

東京藝術大学大学院 音楽研究科修了。

エリザベート国際音楽コンクール作曲部門大賞、

ルイージ・ダルラピッコラ作曲賞、

尾高賞(1992年、1993年、2008年、2011年)、

中島健蔵音楽賞、日本現代芸術振興賞、エクソンモービル音楽賞、

第3回別宮賞、第36回サントリー音楽賞、第47回毎日芸術賞、

紫綬褒章受章、大阪市市民表彰。

現在、東京音楽大学教授。

！一般公開！

6月26日（水）大合奏室 17:50 open 18:00 start

＜第1夜＞自作について―その1（思念）

6月27日（木）大合奏室 17:50 open 18:00 start

＜第2夜＞自作について―その2（作曲技法）

お問い合わせ：第1学科室 098-882-5057

企画：沖縄県立芸術大学音楽学部 音楽表現専攻 作曲理論コース

2017年度科研【基盤研究（C）17K02372】